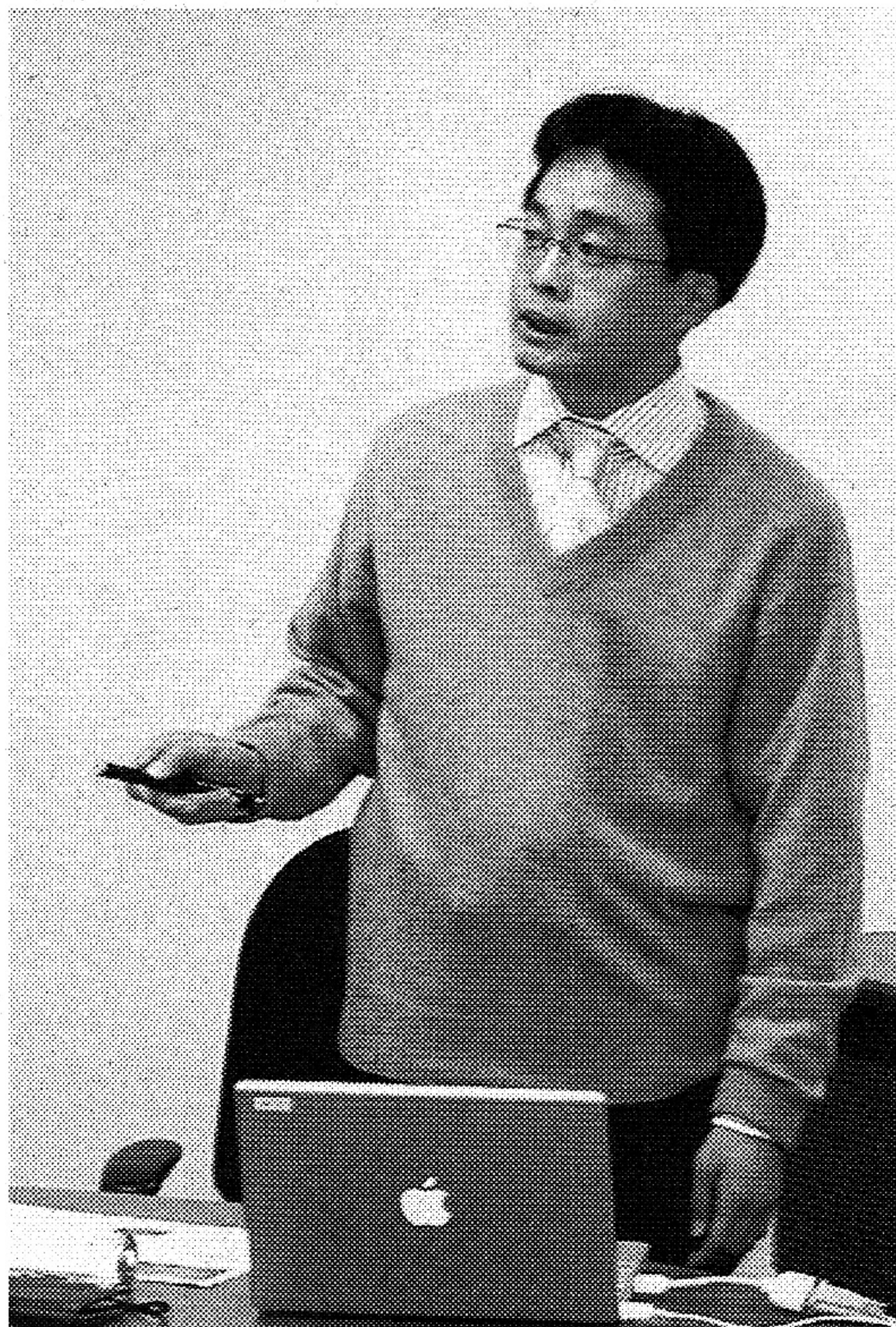


# 生命の謎 解明へ前進

ひめ  
キリスト



小型淡水魚の初期胚に豊富に含まれる特定のマイクロRNA（リボ核酸）が、発生異常の原因にもなる不要になったmRNA（メッセンジャーリボ核酸）を分解、抑制する働きがあることを突き止めた国際共同研究チームの井上邦夫さん（41）＝神戸大理学部生物学科助教授。

「いろんなマイクロRNAの働きを知ることによって生命プログラムの解明に近づくとともに、遺伝

神戸大助教授

井上 邦夫さん

病の治療法や医薬品の開発につながる」と話す。

米ニューヨーク大医学部や英国サンガー研究所とともに手がけた共同研究では、小型淡水魚ゼブラフィッシュの初期胚に豊富に含まれるマイクロRNAの一つ「miR-430」が、不要になったmRNAを分解・抑制する働きがあり、正常な発生を保證することなどを証明した。米科学誌「サイエンス」に掲載された。